

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷●京丹波

広報 | 京丹波

NO.123

2016年1月19日発行

1月号

手づくりしめ縄で

新年を祝う





新春ごあいさつ

輝かしい次の10年への第一歩を



のぐち ひさ ゆき
京丹波町議会議長 野口 久之

新 年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、平成二十八年の輝かしい新春を迎えられましたことに、謹んでお祝い申し上げます。

新年にあたり、京丹波町議会を代表いたしました、年頭のごあいさつを申し上げます。さて、昨年は、戦後七十年、いわば戦後日本



てら お とよ じ
京丹波町長 寺尾 豊爾

明 けましておめでとうございます。平成二十八年の輝かしい新春を迎えになりましたこと、心からお喜び申し上げます。

町民の皆さまから町政のかじ取りをお任せいただき、七度目の初春を迎えることとな

要な施設となっています。今後は、さらにこの施設から町内各地へ訪れていただけるよう事業者とも連携して取り組んでいきたいと考えています。

一方、全国的に進む少子化・高齢化は、本町においても例外ではなく、まちづくりに少なからず影響を及ぼしています。

このような状況の中で、今後の京丹波町のまちづくりを進めるため、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、昨年十一月二十日に「京



今月の表紙

正月に自宅玄関などに飾りつけるしめ縄を作る体験会を山村開発センターみずほで開催。80人の参加者が、新春に向けしめ縄を作りました。

NO.123 CONTENTS

2 新春ごあいさつ 4 2015年を振り返る 京丹波のおもなできごと

5 Dr's Message いきいき健康術 6 本庄馬森・花ノ木宅地分譲地 申込みを随時受け付けます

8 FLASH KYOTAMBA TOWN NEWS 2016

- 住みやすい社会の実現へ
—身体障害者福祉大会
- 発電所について説明
—高浜発電所に係る町民説明会
- 木に親しむ
—木育事業
- 地域福祉向上へ
—赤い羽根自動販売機設置
- 誰も傷つけない社会へ
—いじめ防止のための子ども意見発表会
- 新春に向け作り上げる
—しめ縄作り体験会
- 人権を考える
—人権講演会
- おめでとうございます
—選挙関係功労者表彰・明るい選挙啓発ポスター表彰
- 新たな競技の普及へ
—町民パークゴルフ交流大会
- 最後の輝きに見入る
—冬ほたる
- 楽しみながら健康増進
—ノルディックウォーキング・ジョギング教室
- 新春に向け設置
—須知高校生が門松と冬のセットを届ける

りました。この間、京丹波町のまちづくりは、皆さまからの温かいご支援に支えられ、私が目指します「安心」「活力」「愛」のある京丹波町に向け、一歩ずつ着実に進んでまいりました。本年におきましても、皆さまに愛されるまち「京丹波町」を目指し、町政を進めていく決意を新たにしているところです。

さて、昨年を振り返りますと、本町は、平成十七年十月十一日に丹波町・瑞穂町・和知町が合併してから十周年という節目の年を迎えました。

合併の日と同じ十月十一日に開催した合併記念式典には、約四百人の皆さまに参加いただき、町政発展に功績のあった方々などを表彰させていただきました。さらに、式典では、竹野小学校の児童と、本町と同じ年に生

と創生法」に基づき、昨年十一月二十日に「京丹波町創生戦略」を策定しました。戦略では、基本理念を「日本のふるさと。自給自足の循環社会●京丹波」とし、「森林」「食」「子育て力」「地元力」というまちの強みを生かし、まちの活性化に向けてさまざまな事業に取り組んでいくこととしています。

平成二十八年は、合併十周年を迎えた本町にとりまして、次の十年に向けた第一歩を

まれた町内の小学校四年生から心に染み渡る素晴らしい歌声を聞かせていただき、これからの京丹波町を担う人たちの無限の力を感じたところです。

また昨年は、町が十周年を迎えるのと同じくして、完成に約三十四年を要した京都縦貫自動車道が全線開通しました。これにより、人とモノの流れは大きく変わり、本町にとっても大きな転換点になるものと考えています。

さらに、この道路の完成に合わせ町では、京丹波パーキングエリアに併設して府内で十六番目となる道の駅「京丹波 味夢の里」をオープンさせました。味夢の里には、当初の見込みを大きく上回る人が連日来場されており、京丹波町の魅力を知っていたく重

踏み出す年であります。新たな門出となるこの年を、町民の皆さまと手を携え、一歩ずつ着実にまちづくりを進めたいと考えていますので、ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

後になりましたが、今年一年が町民の皆さまにとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

整備が進められており、いよいよ本年、完成の時を迎えます。

これら全ての事業は、本町にとりまして、三十年後、五十年後を見据えた、今やるべき未来への投資であると考えております。

しかし、合併特例期間が五年間延長されたものの、本町の財政状況がますます厳しさを増していくことも事実であります。町民の皆様にとって真に必要な施策、サービスが展開されるよう、議決機関としての機能をより一層発揮してまいる所存でありますので、今後におきましても、皆さま方おひとりおひとりのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が町民の皆さま方にとりまして実り多きすばらしい年でありますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

Dr's Message

いきいき健康術

第101回

『風邪に 抗生物質はいりません』

風邪の後に肺炎になるかもしれないから抗生物質を使用するという人もいますが、それで実際に肺炎を防げるのは、四千人から一万二千人に一人くらいというデータがあります。これではあまりにお金がかかりますし、抗生物質は副作用・発疹、下痢が

です。
風邪の予防にいそしんでいても、やはり風邪にかかってしまうことがあります。成人では、平均年三回程度風邪にかかるといわれています。
風邪をひいて受診される人の中に「抗生物質を出してください」といわれる人がいます。ここで大切なのは「風邪の原因はウイルスであり、抗生物質は細菌をやつける薬である」ということです。抗生物質はウイルスには効かないので、風邪には効かないのです。

さて、風邪の予防にいそしんでいても、やはり風邪にかかってしまうことがあります。成人では、平均年三回程度風邪にかかるといわれています。
風邪をひいて受診される人の中に「抗生物質を出してください」といわれる人がいます。ここで大切なのは「風邪の原因はウイルスであり、抗生物質は細菌をやつける薬である」ということです。抗生物質はウイルスには効かないので、風邪には効かないのです。

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は、国保京丹波町病院の内科医師横井大祐先生。冬場が増え、油断するとかかってしまう風邪と抗生物質に関するお話です。

新年を迎え、一年の中でも冷え込みがピークを迎える季節です。寒さとともに風邪の原因となるウイルスも活発となつていきます。ウイルスといえばインフルエンザが有名ですが、風邪症状を引き起こすウイルスは他にもたくさんあります（ライノウイルス、コロナウイルスRSウイルスなど）。ウイルスを体内に入れないように、しっかりと手洗いをするように。ウイルスをまかないように咳が出る人はマスクをしましょう。

有名。重い全身型アレルギーもあります（が多く、二十人に一人くらい副作用が出るといわれています）。
また、今、世界中では抗生物質の効かない病原菌が増えており、医療者を悩ませています。抗生物質をたくさん使うことで、それらが発生しやすくなるのです。
風邪の治療の基本は、しっかりと栄養と水分をとって自分の免疫力を高めることです。薬はしんどい症状を抑える補助的な役割です。もちろん、肺炎など抗生物質がなくてはならない病態もあります。そのため私たちも正確な診断に努めます。この冬も元気に乗り切りましょう。



内科医師
横井 大祐 先生（京丹波町病院）

お知らせ
京丹波町病院では、毎週水・木曜日の午後一時から三時まで小児科の予防接種を行っています。
☎86-02220

2015年を振り返る

京丹波の主なできごと



新成人を祝う成人式



町内産ヒノキで作ったぬく森のイスを贈呈



全国高校総体で須知高校女子ホッケー部が健闘



道の駅「京丹波 味夢の里」が完成



合併10周年記念式典を開催

- 1月 ●町消防出初式開催(11日)
●町内で208人が新成人を迎え、成人式開催(11日)
- 3月 ●町内で誕生した赤ちゃんに対し「ぬく森のイス」の贈呈を始める(24日)
●町瑞穂支所周辺をゾーン30に設定(27日)
●京都縦貫自動車道瑞穂トンネルの貫通により同自動車道全線が貫通。記念式典が開催される(29日)
●京丹波町子ども・子育て支援事業計画を策定(31日)
- 4月 ●町で初の地域おこし協力隊2人を任命(1日)
- 6月 ●町長と語るつどいを町内22会場で開催(6月18日～8月11日)
●旧和知第二小グラウンド芝生化を目指して、住民らが14,000株の苗を植え付ける(20日)
- 7月 ●道の駅「京丹波 味夢の里」が完成。記念式典を開催(12日)
●京都縦貫自動車道が全線開通(18日)
●消防防災にかかわる機関が集い消防防災フェスティバルを開催(26日)

- 8月 ●グリーンランドみずほホッケー場をメイン会場として全国高等学校総合体育大会ホッケー競技が開催され、地元須知高校女子ホッケー部が、ベスト8の成績を残す。(3日)
●京たんば花火大会(5日)、みずほ夕涼み大会(16日)、わちふるさとまつり(22日)が開催される。
- 9月 ●京丹波町総合教育会議を設置。第1回会議を開催(24日)
- 10月 ●京丹波町合併10周年記念式典を開催(11日)
●丹波自然運動公園などを会場に「京丹波 食の祭典2015」開催(25日)
- 11月 ●2015京都丹波ロードレース大会を開催(3日)
●京丹波町創生戦略を策定(20日)
- 12月 ●10回目となる冬ほたるが開催される。(11日～24日)


本庄馬森・花ノ木宅地分譲地 申込みを随時 受け付けます

京丹波町では、定住促進を目的とした本庄馬森と花ノ木に造成した宅地の分譲を再開します。

■分譲を行う宅地

馬森団地

本庄地区を見下ろせる高台にある馬森団地は、日当たり良好、JR和知駅まで徒歩約2分という立地。この団地では、**残り4区画**を分譲します。



馬森団地

住所	面積 (㎡)	予定分譲価格
本庄馬森9番 9	282.26	285万円
本庄馬森9番10	281.98	290万円
本庄馬森9番11	291.95	295万円
本庄馬森9番12	292.02	289万円

■応募資格

今回の分譲地購入については、以下の全ての条件を満たす人が対象となります。

- (1) 自ら居住する住宅を建築するための宅地を必要としている人で、現在親族と同居しているか、または同居しようとする親族があること。
※婚姻の届出をしていない場合でも事実上婚姻関係と同様の状況にある方、また、婚姻予定者を含みます。
- (2) 応募者とその同居しようとする人(中学生・高校生を除く満15歳以上の人)が、本町と住所地の市町村税を滞納していないこと。
- (3) 町が指定する日に分譲代金の支払いが確実にできること。



©京都府自治体情報化推進協議会

花ノ木団地

府道と和知停車場線に面し、JR和知駅まで徒歩約2分。近くには、金融機関や商店などもあります。
この団地では、**残り1区画**を分譲します。



花ノ木団地

住所	面積 (㎡)	予定分譲価格
本庄花ノ木11番7	165.75	176万円

- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団と反社会的行動を行う団体の構成員、暴力的不法行為を行う者、公序良俗に反する行為を行う者でないこと。
- (5) 現在同居している人、または同居しようとする人が上記に該当しないこと。

■分譲の条件

分譲にあたり、次のとおり条件がありますのでご注意ください。

- (1) 分譲する宅地は、住宅の建築用地として使用しなければならず、それ以外の用途には使用できません。

- (2) 宅地の引渡しを受けた日から2年以内に住宅建設に着手し、かつ、3年以内に完成させなければなりません。
- (3) 宅地の売買契約上の地位を第三者に譲渡することはできません。
- (4) 住宅完成後、速やかに自ら居住しなければなりません。
- (5) 宅地の引渡しを受けた日から10年間は、宅地を第三者に貸したり譲渡したりすることはできません。
- (6) 宅地を譲り受けた人は、自治会に加入し、その活動に積極的に参加しなければなりません。

■申込方法

宅地分譲申込書に必要事項を記入し、次の書類とともに提出してください。

- (1) 住宅に居住しようとする全ての方の住民票の写し
- (2) 代理人が申請する場合は、委任状
- (3) 応募資格者にある婚姻予定者に該当する場合は、婚約証明書
- (4) 申請者と同居しようとする方(中学生・高校生を除く満15歳以上の方)の直近2年間の本町と住所地の市町村税にかかる納税証明書または非課税証明書
- (5) 確約書

■申請受付開始日

平成28年2月10日(水)から随時受付

※土曜日、日曜日、祝日を除く

午前8時30分から午後5時15分まで

■申請受付場所

京丹波町和知支所

(郵送・電話・メールなどによる申込はできません)

■選定方法

必要書類をそろえて提出された日時の順番(先着順)で受付します。

申込書および添付書類により資格審査を行い、分譲を決定します。

【問い合わせ先】
和知支所 ☎84-0200

若者定住を目的に 分譲地購入者に 100万円の 補助金を 交付します

町から宅地の引渡しを受けられた人で、下記に該当する人に補助金を交付します。

対象者

宅地購入申し込み時点の年齢が40歳未満の人で、次のいずれかに該当する人

- ① 戸籍法により婚姻の届出をしている婚姻中の人(婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある人や婚姻予定の人を含む)。
- ② 同居予定者に義務教育終了前の子がいること。

※平成27年度中に申請される場合に限り、平成27年4月1日現在で40歳未満の人も対象となります。

交付額

100万円

申請方法など、詳しくは下記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】
和知支所 ☎84-0200

住 みやすい社会の実現へ

■身体障害者福祉大会

町身体障害者福祉会（一谷静夫会長）主催の第十回京丹波町身体障害者福祉大会が十二月一日、和知ふれあいセンターで開催されました。

この大会は、障害者の社会参加の推進と自立意欲を高めることを目的に同会が毎年開催しているものです。

大会では、町身体障害者福祉会

会長表彰として自立更生者三人に対し表彰状が授与されたあと、六項目の大会決議案の承認、大崎薫さん（水戸）による体験発表などが行われました。

受賞者は次のとおり。（敬称略）

■第十回京丹波町身体障害者福祉大会会長表彰

自立更生者の部／

村山敏男（安井）

▼澤井 満（質美）

▼谷 忠志（坂原）



表彰状を授与される受賞者（和知ふれあいセンター・本庄）

木 に親しむ

■木育事業

本年度三回目の木育事業を十二月十二日、わち山野草の森で開催しました。

この事業は、森林にちなんだ体験活動などを通して森を理解する取り組みとして行っているものです。今回、クリスマスアート教室として開催した事業では、友好町下川町産のトドマツに松ぼっくりなどを飾りつけてクリスマスツリーを作り上げました。

また、教室に参加した子どもたちは、身近な材料を使ったクリスマスリースや小物作りに挑戦したほか、府立林業大学の志方隆司教授によるクリスマスツリーやトドマツ、木に関する話を聞き、森に対する理解を深めました。

今回、子どもたちが飾り付けをしたクリスマスツリーは、町内の小・中学校に届けられました。



ツリーに飾り付けをする参加者（わち山野草の森・坂原）

地 域福祉向上へ

■赤い羽根自動販売機設置

町内で三台目となる赤い羽根自動販売機がこのほど、道の駅「和」に設置され、十二月一日、除幕式が行われました。

この自動販売機は、町共同募金会（寺尾豊爾会長）が設置したもので、購入額の一部が、同会を通じて、町内の高齢者や障害者などの福祉向上に活用されます。

除幕式では、同会の波瀬孝澄副

会長（町社会福祉協議会会長）と道の駅「和」の藤田義幸駅長、京都府共同募金会の和田千恵専務理事、事務局長などが参加。自動販売機にかけられた幕をはずしました。

除幕後、波瀬副会長は「購入いただいたことによる募金は町共同募金会に寄附されます。皆さんの福祉の向上に役立てたい」と話しました。



設置された自動販売機と（右から）波瀬副会長、藤田駅長、和田事務局長（道の駅「和」・坂原）

新 春に向け作り上げる

■しめ縄作り体験会

町教育委員会と町ふるさと体験資料館運営委員会（北村始子委員長）が主催し、十二月二十日に山村開発センターみずほでしめ縄作り体験会を開催しました。

町内外から参加した八十人の参加者は、運営委員会の委員や講師として参加した町民などから縄をなう方法などを教えてもらいながら、自宅玄関などに飾るしめ縄を作っていました。

近所の人と参加したという清水孝子さん（実勢）は「初めてのしめ縄作りでしたが、わかりやすく教えてもらえました。はじめは難しかったけど、楽しく作ることができました」と、自宅に飾るしめ縄を作り上げていました。



作り方を教わりながら縄をなう参加者（山村開発センターみずほ・大朴）

誰 も傷つけない社会へ

■いじめ防止のための子ども意見発表会

町教育委員会と町内幼稚園・小学校・中学校長会は、十二月六日に京丹波町いじめ防止のための子ども意見発表会を開催しました。

この発表会は、町内小・中学校でのいじめ防止の取り組みを発表することで、いじめ防止に対する意識を高め、地域全体でいじめゼロを目指す初の取り組みとして開催。各校の児童・生徒らは、スライドや自作のプレートを使得

発表しました。

児童会本部であいさつを通じて心をつなぐ活動に取り組んだ瑞穂小学校の児童たちは「自分たちが一年生のときに六年生に声をかけてもらったのがうれしかったので、今は自分たちが一年生に声をかけている」と発表し「当たり前『ありがとう』が、自分にとっても、相手にとってもうれしいこと。（あいさつや声かけで）社会が明るくなると人が傷つくこともなくなると思う」と発表しました。



取り組みを発表する児童たち（町中央公民館・蒲生）

人権を考える

■人権講演会

十二月四日から十日までの人権週間の取り組みとして、十二月五日、和知ふれあいセンターで人権講演会を開催しました。

講演会では、落語家の桂春蝶さんが、自らの家庭や落語家としての活動経験を通して得た人権に対する思いを込めた講演と「明日ある君へ・知覧特攻物語」と題した落語を披露しました。

講演で桂さんは、戦時中に特攻隊として亡くなった人たちの遺品などが展示してある知覧特攻平和会館（鹿児島県南九州市）を訪れたことにより、「行く」とそれぞれ思うことがあり、全て正解だと思う。

自分は「自分が生きていることがありがたい」と思った」と感想を話し、「私たちにとって明日を迎えることは当たり前だが、（特攻隊）の隊員にはなかった。皆さんの今日一日は、戦争犠牲者が生きたかった一



来場者に人権について話す桂さん（和知ふれあいセンター・本庄）

日なのです」と、毎日を大切に生きることの重要性を話しました。

さらに、人権と戦争の結びつきについて「戦争は最大の人権侵害」と訴えかけました。

おめでとうございます

■選挙関係功労者表彰・
明るい選挙啓発ポスター表彰

選挙関係功労者の表彰伝達式

と明るい選挙啓発ポスター入賞者表彰式が十一月二十九日、ルビノ京都堀川（京都市）で行われました。

式典では、内閣総理大臣からの表彰状と総



感謝状を受け取る山内さん（ルビノ京都堀川・京都市）

務大臣からの表彰状と感謝状の伝達が行われました。本町からは、昭和六十三年十二月から平成十七年十月まで、選挙管理委員会委員を務めた山内純治さん（質美）に感謝状が伝達されました。

感謝状を受け取った山内さんは「感謝状をいただき感無量。これも一重に皆さんのおかげです。これから健康に気をつけて精進していきたい」と話していました。

また、二、一七一点の応募があった明るい選挙啓発ポスターでは、徳岡もさん（曾根）が、府



会長賞を受賞した徳岡さん（ルビノ京都堀川・京都市）

明るい選挙推進協議会会長賞を受賞。表彰状が授与されました。

最後の輝きに見入る

■冬ほたる

琴滝公園一体を約七十万球のLED電球で照らし出すイルミネーションイベント「冬ほたる」が、十二月十一日から二十四日まで開催されました。



冬ほたるは、NPO法人丹波みらい研究会（岩崎栄喜雄会長）の手で平成十七年に第一回を開催。今回、十周年記念の開催であり、また、最後の開催となりました。

十二月十一日には、町内の保育所と幼稚園の園児を招待し、オーピングセレモニーを開催。町内の和太鼓グループ「舞夢」による演奏が行われたあと、園児らによるカウントダウンに合わせてイルミネーションが点灯されました。

セレモニーで岩崎

会長は「京都縦貫自動車道の開通により通過のまちになるのではなく、多くの人が訪れるまちにしたいと考えて冬ほたるを始めました」と話し、さらに「このまちに住む一人ひとりがほたるのように輝いてほしいと冬ほたるを企画しました。今回が節目のファイナルステージとなります。本当に長い間ありがとうございました」と訪れた人たちに感謝の思いを述べました。

期間中、冬ほたるには、終了を惜しむ人たちが多数来場。幻想的な光の空間を楽しんでいました。

人の動き

（敬称略）

教育長に松本和久氏を任命

平成二十七年四月にスタートした新教育委員会制度に伴い、十二月八日に開かれた議会定例会の本会議で、教育長に松本和久氏の選任が同意されました。任期は平成二十七年十二月十二日から三年。



■公平委員会委員（任期四年）

【新任】梅垣正明（猪鼻）

【退任】山内幸博（栗野）

■固定資産評価審査委員（任期三年）

【再任】野間雅彦（坂原）

■人権擁護委員（任期三年）

【新任】村山孝秋（口八田）

【退任】吉田和夫（蒲生）

【再任】山内津八子（栗野）

新たな競技の普及へ

■町民パークゴルフ交流大会

町パークゴルフクラブ（湊敏会長）主催の第一回町民パークゴルフ交流大会が十一月二十九日、須知公園で行われました。

パークゴルフとは、専用のクラブとボール、ティを使い、ゴルフで使用するようなクラブにボールを入れる打数を競うスポーツで、一九八三年に北海道幕別町で始まりました。

本町では、湊さんが、旅行で北海道を訪れた際にプレーし、本町でも普及させようと平成二十六年七月にクラブを設立。十一月には須知公園内にコースを整備しました。

この大会は、競技の周知と交流を目的に開催。参加者らは、会員から競技方法を教えてもらいながら、公園内に設けられたコースをプレーしていました。



パークゴルフをプレーする参加者（須知公園・須知）

ご寄附ありがとうございました

ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）を、次の方からいただきました。ありがとうございました。（掲載内容は、寄附者の申し出にもとづいたもの）

大南	彰宏さん	一万円
澤田	大介さん	三万円
田中	達雄さん	一万円
佐藤	陽子さん	一万円
新倉	謙太郎さん	二万円
平松	保人さん	二万円
吉澤	幸男さん	二万円
西田	智樹さん	二万円

義援金などの受付状況

東日本大震災への支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額

義援金	9,526,917円
復興支援募金	6,656,287円

*平成27年12月31日現在

わたしたちの町

人口	15,242(−32)
男	7,210(−18)
女	8,032(−14)
世帯数	6,375(−6)
1月1日現在／()は前月比	

楽しみながら健康増進

■ノルディックウォーキング・ジョギング教室

町教育委員会と町スポーツ推進委員会では、健康増進などを目的として十一月二十八日に丹波自然運動公園でノルディックウォーキング・ジョギング教室を開催しました。ノルディックウォーキング教室には、高齢者を中心に三十二人が参加。日本ノルディックウォーキング協会公認インストラクターの長元太さん(スプリングスひよし)の指導を受け、公園内を歩き

ました。

公園内を歩きながら長さんは「下り坂はブレーキをかけようとひざに負担をかけてしまいます。足をつく前にポールをつくことで負担が少なくて歩けます」と、参加者にポールの使い方を指導していました。

同時開催されたジョギング教室では、全国都道府県対抗女子駅伝京都府チームのコーチを務める久保孝子さん(園部高教員)が、小中学生二十三人に対してジョギングに向けた上半身を使うトレーニング法などを指導。腕の振り方な



長さん(写真右)とともにノルディックウォーキングを楽しむ参加者(丹波自然運動公園・曾根)

どの練習後、体力に合わせて公園内を走りました。

新春に向け設置

■須知高校生が門松と冬のセットを届ける

十二月二十一日、須知高校生が京丹波町役場を訪れ、門松と加工品の詰め合わせ「冬のセット」を届けました。

門松は、食品科学科公園管理コースの生徒が、校内で取れた竹や松、栽培したハボタンなどを使って制作。同コースの三年生山内喬介君と二年生東優衣さ

らにより役場玄関に設置されました。

また、府立海洋高校(宮津市)と共同で制作した「冬のセット」は、同科食品加工コースの二年生井上太賀君から畠中源一(副町長)へ手渡されました。

生徒らは、それぞれの作品について「(門松の)左右が対になるように作るのが難しかった」「二年生で食品加工コースになってから一番の出来」と、それぞれの作品制作の感想などを話していました。



門松を設置する須知高校生(京丹波町役場・蒲生)

京丹波町のシンボル

【町の鳥】
うぐいす



【町の木】
イチヨウ



【町の花】
つつじ



明けましておめでとうございます。皆さまは、平成28年の輝かしい新春をどのように過ごされたでしょうか。

去年は、京丹波町合併10周年、京都縦貫自動車道全線開通、道の駅「京丹波 味夢(あじむ)の里」オープンなど、本町にとってさまざまな面で節目の年となりました。

本年は、次の10年に向けた新たな一歩を踏み出す年となります。今まで以上に精力的に取材し、皆さんにまちの歩みを伝えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。(T)

編集後記